



毎年検診を受けていますか？



17年度各種検診

検診名	対象者	検診内容	時期
総合健診	30～74歳	基本健診・各種がん検診同日実施	5月
基本健診	30歳以上	検尿・血圧測定・血液検査 必要に応じて心電図・眼底検査	5月
肺がん検診	30歳以上	基本健診に併せて実施 喀たん検査	5月
大腸がん検診	30歳以上	便潜血検査	5月
子宮がん検診	20歳以上偶数年女性	子宮の入り口から細胞をとる	7月
乳がん検診	40歳以上偶数年女性	視触診・マンモグラフィ検診(併用)	7月
胃がん検診	30歳以上	一切の飲食をしない状態で胃部レントゲンをとる	7月
前立腺検診	30歳以上男性	基本健診に併せて採血	5月
骨密度検診	30 35 40 45 50 55 60 65 70歳女性	腕のレントゲン検査	9月
B・C型肝炎検査	40 45 50 55 60 65 70歳 過去に肝機能異常を指摘されたことのあるかた等	基本健診に併せて採血 5年継続事業で、18年度で終了	5月

17年度から乳がん(甲状腺)検診は、マンモグラフィ併用検診になります。
マンモグラフィ検診は、乳房をプラスチック板で挟んでレントゲン写真をとるものです。

町の健康診断が変わります

老人保健事業等の国の見直しにより、17年度から検診が大幅に変わります。

子宮がん検診は、20歳以上隔年、乳(甲状腺)がん検診は40歳以上隔年実施となります。また、乳がん検診は、マンモグラフィ(乳房レントゲン)併用検診となります。結

検診は、あなたの健康を見守りその変化にいち早く気がつくためになくってはならないものです。1年に1回は検診を受けましょう。検診結果から普段の生活を見直していくことが、いきいきとした毎日を支える礎になります。

核レントゲン検診は、肺がん検診(レントゲンフィルムを活用して肺がんを発見)と併せて40歳以上になります。

2月中旬から3月上旬に、17年度各種検診の受診希望調査を実施します。希望調査書には、該当する検診が印字されていますので、受診の有無に関わらずすべて記入し、提出をお願いします。

ノロウイルスによる食中毒に注意しましょう！

食中毒といえば梅雨時期から初秋までが発生のピークですが、冬場に多く発生する食中毒もあります。それがノロウイルスによる食中毒です。

ノロウイルスは、主にカキなどの2枚貝の中に蓄積されるため、ノロウイルスによる食中毒は生ガキの消費が増える冬に多く発生します。

どうやって感染するの？

ノロウイルスは食品内で増殖せず、人の腸内で増殖します。ですから、人の便に含まれたウイルスが川や海に流れ出て、カキなどの2枚貝の中に蓄積し、それらの食品を介して感染すると考えられます。また患者の便の中には大量のウイルスが含まれ、ごく少量のウイルスで感染するため、ウイルスに汚染された人の手や水を介して感染が起こります。今までに水や刺身、サラダなどの加熱

されていない様々な食品での感染が起きており、人から人への感染も報告されています。

予防は？

ノロウイルスは、十分に加熱(中心温度75℃以上で1分以上加熱)すれば滅菌することができま

す。また、汚染された水や調理器具を介してうつりますので、手洗いや調理器具の洗浄などに日ごろから気をつけることが大切です。冬期の風邪様症状は、ノロウイルスによることが多いので、下痢や風邪様症状のある時は、用便後や調理前には入念に手を洗いましょう。

感染したかと思ったら！
すぐに医師に診てもらいましょう。

免疫力の弱い幼児や高齢者は、症状が重くなる場合があり、中には死亡する例もありますので十分な注意が必要です。